

【対象者】

毎年度、県内で母子健康手帳を交付された方、調査期間内に県外で母子健康手帳を交付され、県内で里帰り分娩をされた方。

調査年度	対象者	ご回答数											
2011年度	1万6001人	9316人 (58.2%)	<p>出産約4年後に フォローアップ調査を実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>ご回答数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7252人</td> <td>2554人 (35.2%)</td> </tr> <tr> <td>5602人</td> <td>2021人 (36.1%)</td> </tr> <tr> <td>5734人</td> <td>2706人 (47.2%)</td> </tr> <tr> <td>5856人</td> <td>2719人 (46.4%)</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	ご回答数	7252人	2554人 (35.2%)	5602人	2021人 (36.1%)	5734人	2706人 (47.2%)	5856人	2719人 (46.4%)
対象者	ご回答数												
7252人	2554人 (35.2%)												
5602人	2021人 (36.1%)												
5734人	2706人 (47.2%)												
5856人	2719人 (46.4%)												
2012年度	1万4516人	7181人 (49.5%)											
2013年度	1万5218人	7260人 (47.7%)											
2014年度	1万5125人	7132人 (47.2%)											
2015年度	1万4572人	7031人 (48.3%)											
2016年度	1万4154人	7326人 (51.8%)											
2017年度	1万3552人	6449人 (47.6%)											
2018年度	1万2838人	6649人 (51.8%)											

【調査方法】

対象となる妊産婦の方へ調査票をお送りし、回答いただきます。  
(2016年度調査より、回答は郵送またはオンラインで受付)

主な調査項目は、次のとおりです。

- ・妊産婦のこころの健康度
- ・現在の生活状況（避難生活、家族離散の状況）
- ・出産状況や妊娠経過中の妊産婦の健康状態
- ・育児の自信
- ・次回妊娠に対する意識

福島県立医大放射線医学県民健康管理センターウェブサイト、第37回福島県「県民健康調査」検討委員会資料より作成

対象となる方は、新たに母子健康手帳を福島県内で交付された方、調査期間内に福島県外で交付を受け、県内で里帰り分娩をされた方です。

前者に該当する方は、県内の市町村の情報提供に基づき、後者に該当する方については、福島県内産科医療機関に置いてある調査票をご利用いただくか、福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センターへご連絡いただき調査票をお送りしています。

調査は、自記式調査票に回答後、ご返送いただく形で行っています。2016年度調査より、オンラインでも回答いただけるようになりました。

福島県内で妊娠・出産される方は震災後の2012年度に減少し、2013年度は一時的に回復しました。その後は全国と同様に減少傾向を示しています。

本資料への収録日：2013年3月31日

改訂日：2021年3月31日